

この先生にズームイン

趣味と研究を兼ねて

漫画やアニメは、現代社会の常識を測る指標の一つとして、幅広いジャンルを常にチェック。特にまっているのがドラマ化され話題を呼んだ漫画「逃げるは恥だが役に立つ」と、テレビアニメ「おそ松さん」だそう。ちなみに、今回の衣装はおそ松さんとサマーソニックのコラボTシャツと、自作のコート。



うれしかったこと

高校生の頃から小沢健二さんの「超特大ファン」で、現在も常に追い掛けている。昨年は大分県立美術館で開かれた特別ライブに当選し、ステージの近さに感激したそう。写真は、そのツアーTシャツと、別のツアー時のグッズ。どちらもレアもので、ライブには当然身に付けて臨む。



ふるさとの味

故郷・長崎でだしといえば、トビウオを原料にしたあごだし。「東京や関西のものもおいしいですが、やっぱり基本はあごだしですね。落ち着きます」。家には必ずストックしているという。



先生に質問!

A 家族の在り方は、時代とともに大きく変化していきま
す。教員は何十年もの間若
い人たちを相手にし続けるわけ
ですから、自分の経験に基づいて考
えてしまうと、現状からどんどんず
れていくことが予想されます。また、
兵教大の学生は親との仲が良い人
が多い傾向にありますが、現実には
そうでない子どもたちもたくさんい
ます。家庭科には家族にまつわる分
野も含まれるので、そうした児童生
徒たちとの接し方や教員としての
在り方を学び、教員になった後も常
に最新の情報をキャッチし時代に即
した対応ができる力を身に付けて
ほしいと思います。

Q 授業を通じて学生たちに
学んでもらいたいことは。

A 基本的にはアンケート調査
などで、一番長く携わって
いるのは青少年の性行動調査
です。70年代から6年置きに実施
されてきたもので、私が6代目。90
年代半ばまでは婚前交渉への忌避
感が強かったのですが、以降はそ
うではなくなり、結果として恋愛や結
婚への考え方が大きく変わりました。
このように、追跡し続けることで社
会の変化が見えてきます。

Q どうやって変化を調査する
のですか。

A 1990年代以降、未婚化
や晩婚化といった日本が経
験したことのない状況の中
で、若者の結婚や家族に関する考
え方、行動などがどのように変化し
ているかを調査研究しています。

Q 先生のご専門は。

今一番のお気に入り

秋に購入したドイツ製のスライサー。イベリコ豚の生肉を塊で購入し、シャットとスライスしてしゃぶしゃぶでいただくのがブーム。さすがに買う時は躊躇したそうだが、「めっちゃ買ってよかった!!大変おいしい、生きる糧です」と愛用している。



もはやライフワーク

日本最大規模の野外音楽イベント、フジロックフェスティバルに初期から毎年通っている。東京在住時には、「あまりに楽しくて」運営のボランティアスタッフとしても活躍していた。一番の魅力は「いくつものステージが同時進行する中、どう過ごすかを自分で工夫できる楽しさがあるところ」という。



なが た な つ き

永田夏来 助教

生活・健康・情報系教育コース

長崎県出身。平成16(2004)年早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程を修了。成蹊大学文学部非常勤講師、明治大学大学院情報コミュニケーション研究科講師、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構の主任研究員などを経て25年から現職。研究分野は家族社会学と生活経営学で、現代日本における結婚観や家族観の変化、夫婦関係の調査・分析を専門としている。授業は「家庭科教育法」(学部)、「家庭と文化・社会」(修士課程)などを担当。

Q&A